



2018-19 年度テーマ



インスピレーションになろう

第 2670 地区

宿毛ロータリークラブ会報

■会長	竹田	米廣
■幹事	高瀬	一也
■S A A	山本	浩司
■クラブ奉仕委員長	小栗	学
■職業奉仕委員長	竹葉	良仁
■社会奉仕委員長	筒井	大八
■国際奉仕委員長	増田	博和
■青少年奉仕委員長	二神	雅彦

■例会日：毎週木曜日 12:30~13:30
 ■例会場：宿毛市幸町 秋沢ホテル
 ■事務所
 〒788-0003 高知県宿毛市幸町 6-43
 TEL 0880-63-3416 FAX 0880-63-3417
 URL <http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/>
 E-Mail sukumorc@mb.gallery.ne.jp

例会報告 第2619回 平成30年8月2日(木曜日) 天気：曇/晴

■例会司会：田淵副S A A
 ■開会点鐘：竹田会長
 ■Rソング：四つのテスト
 ■お客様：

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 竹田会長

相変わらずひろみ郷があちあちと云っています、それに対して八代亜紀が雨雨ふれふれもっと降れと、そして暴れん坊将軍が暴れています。

本日会長就任1ヶ月超えました、ありがとうございました。

知人からRCの会長になったねと、励ましの言葉をもらいます、その中で何をしようかとよく聞かれますので、大島桜公園のことを説明して、タイムカプセルなどのことや、本年は一方通行のことなども話します。今日は岡崎議長さんも来ていただいていますので、その辺も宜しくお願いします。

会長になって、この壇上に立たなかつたら分からないことがあります、ガバナーなどの方針目標を建ててもらっており、クラブ計画書もあります。しかし自分自身がそれに従ってやっているのかどうか？自問自答しながら、会長であることを再認識しております。かごに乗る人担ぐ人、それまたわらじを紡ぐ人、みなさんのRC活動に様々な準備をしております。とりあえず自分のできることに心がけております。まずこのロータリーの青いジャンパーを携帯しながらアピールしてほしいと思います。そしてもう一つは共に考えようという機会が少ないと思います、今日は理事会がありますので、できる限り参加してもらいたいと存じます。そしてそういう話し合いができる場を設けることが私の仕事だと思っております。宜しくお願いします。それと、8月5日から夏の甲子園大会が始まります。強豪高知商業が明德義塾の市川を打ち砕いて出場することになりました。皆で高知商業を応援しましょう。

■幹事報告 高瀬幹事

■ガバナー事務所より：

- ・8月のレートのお知らせ(1ドル=112円)
- ・地区大会本登録のお願い
- ・「ロータリーの友」地区代表委員就任の挨拶状

■中村RCより：

- ・例会変更のお知らせ、ゴルフコンペのご案内

■宿毛LCより：

- ・会報誌

例会終了後理事会を開催します

欠席届 18名

■8月誕生日・結婚記念日

8月誕生日

田淵会員(財団寄付)、竹田会員(財団寄付)

欠席者：池会員、山下会員

8月結婚記念日

秋澤会員(財団寄付)

欠席者：稲田会員、荒木会員

■委員会報告

社会奉仕委員会 筒井委員長

大島アクセス道 市役所と何度か面談して、少しずつ話が進んでいる。入り口のところのヤシの木を切らせてもらったり、資材置き場のところの草刈りもしてくれたようです。もしかしたら予算をつけてもらえるかもしれません。その場合はブロックなどを設けられたらいいと思いますが、現在は未定の状況です。

情報担当委員会 田淵委員長

ガバナー月信が届いている p 5に大杉ガバナー補佐の原稿が載っている。

■プログラム 保田副幹事

小八木会員スピーチ

みなさんこんにちは。お聞きになっているかもしれませんが、NHK プロジェクト仕事の流儀に出ていた銀座のママさんの件です。去年の12月の日本政策金融公庫の忘年会に出席しておりました。その際に講演会がありまして、約30名ほどの出席でした。その際に銀座のママを20年間やっているという人の2時間余りのお話でした。とても話が上手で退屈せずに聞きました。銀座のクラブでは6ヶ月が平均の寿命らしいですが、20年間もクラブラウンジをやっている方でした。今現在銀座に稲葉というお店や日本料理のお店など4店舗を営んでいる方でした。彼女は早稲田大学在学中に水商売に入られて、女子大生の時に雇われてママとなりました。その後独立して、現在に至ります。年は51歳で、銀座のママさんといえばスタイルも良くて顔も良い人だろうと期待していきましたが、ご自身も言われていましたが、これは人それぞれです。今日はおいでしていないけど、ハッピーのテーマママさんが上手だと思われました。話の内容は20年間お店をやった中でこの人は絶対成功するであろうという方の話でした。まず取引先であろうと、上司であろうと部下であろうと、ホステスさんであろうと、本当に真剣に接してくれて、親身になって話を聞いてくれる人、そういう人は立派に成長しているとのことでした。お店に入ったら何十万かお金がいる、最初から最後まで居ても同じ料金なのが一番のお店だと言われていました。私もちょくちょく東京に行きますが、そう簡単には入れないと思いまし

た。その中でホステスさんたちがどういうところを見て、このお客様がお金を持っているか？を判断するか、まずスーツ、靴、時計、そういったものを見るようです。どんなお客様が入ってきても、そのお客にあったホステスさんを当てるとというのが20年続けてきた秘訣だと思っているとのこと。非常に高いお店でも満足していただける会話で楽しんでもらうようにしているとのこと。ある時破けたジーパンを履いてきたお客様が来られて、そのホステスの話ではこのジーパンは世界に5本しかないジーパンだと言った、他にはTシャツできたお客様がいて、そのTシャツに関しても何十万もするものだった。そんな話もあります。銀座に働くホステスさんはそういったことをすぐ見抜く力があるとのこと。一度来たお客様は初めてついたホステスさんが面倒をみることにしている。景気もいい時は支払いもきちっとしてくれていましたが、景気が悪くなった時には大きな法螺をふくお客様が居て、来月大きな商談が成立するのではということで、毎日つけて飲んでいて。しかしながら急にこなくなったので、電話しても出ない、行ってみたらもぬけの殻だった。そのホステスさんは1000万以上の支払いをかぶることになった。こういったことが銀座の決まりだそうです。と同時にどういうことを意味しているのかわかりませんが、景気のいい時には帰りにティッシュの中に5万6万入れてチップをくれていたが、そんなお金をもらって、その人の女になれかと思いきや先輩に相談したこともあったが、先輩からはもらっておけと言われた。お客様からゴルフをするのか？と聞かれ、パスポートを持っているかとも聞かれ、ハワイにゴルフ旅行に連れて行かれたこともあった。当然そういう羽振りのいいお客様が居た銀座には東証1部などの社長や芸能人や小説家もきていただいた時もあった。しかしバブル崩壊後は銀行も回収要求がひどかった。バブルの時代では銀座に飲みに来て、それだけで何億の商談が成立していたのを見たが、崩壊後は生命保険まで解約してなんとか生き延びてきた。今は順調に回復してきている。ホステスさんの中にはマンション2棟もらった人もいる。東京で桁外れのお金持ちもいるのだな～と思いました。会の後、懇親会に残ってくれると思って、お店のチャージなどを聞いてみたかったが、全国を飛び回っている方で帰ってしまって叶わなかった。公庫の方に今度東京に行ったら連れて行ってねと言ったが、とんでもないと断られました。

■ニコニコ

田淵会員	2,000円
誕生祝のお礼	
秋澤会員	2,000円
結婚記念祝のお礼	

■出席報告

51.85%